

2015年10月23日
丸紅株式会社

インドネシア・Cirebon 石炭火力 IPP 拡張プロジェクトの長期売電契約締結の件

丸紅株式会社（以下「丸紅」）が、インドネシア西ジャワ州 Cirebon（チレボン）にて2012年7月より商業運転を行っている石炭火力 IPP プロジェクトの拡張を目的として、インドネシアの PT. Indika Energy Tbk（以下「Indika」）、韓国の Samtan Co., Ltd.（以下「Samtan」）、Korea Midland Power Co., Ltd.（以下「Komipo」）、中部電力株式会社（以下「中部電力」）と共同で出資している事業会社 PT. Cirebon Energi Prasarana（以下「CEPR」）は、本日インドネシア国有電力会社 PT. PLN (Persero)（以下「PLN」）と25年間に亘る長期売電契約を締結しました。

今後、CEPR は Cirebon 地区にて出力 1,000MW の発電所建設を進め、2020 年に予定している商業運転開始後は、PLN との長期売電契約に基づき、安定的に電力を供給していきます。発電に関わる主要機器は本邦メーカーから調達する予定です。また、国際協力銀行・日本貿易保険・韓国輸出入銀行を中心とした輸出信用機関・国際商業銀行団からのプロジェクトファイナンスの組成を検討しています。

昨年発足したインドネシア・ジョコ新政権は、その政策課題であるインフラ整備の一貫として、今後5年間で35GWの電源開発を達成する目標を掲げており、急激な経済成長下で逼迫する電力需要に対応すべく、IPP 事業における海外企業の貢献が喫緊の課題となっております。本件は本35GW 開発計画の最初の大型案件と位置付けられており、丸紅は本件を通じて、インドネシアにおける電力の安定供給と共に、同国のさらなる経済成長に貢献していきます。

Marubeni

< Cirebon 拡張石炭火力発電プロジェクト概要 >

- ・ 事業会社 : PT. Cirebon Energi Prasarana
- ・ 出資比率 : 当社 35%、Indika 25%、Samtan 20%、Komipo 10%、中部電力 10%
- ・ 所在地 : インドネシア西ジャワ州 Cirebon
- ・ 発電設備容量 : 1,000MW
- ・ 総事業費 : 約 20 億米ドル
- ・ 売電先 : インドネシア国有電力会社 PT. PLN (Persero)
- ・ 売電期間 : 25 年間

< 関係各社概要 >

● PT. Indika Energy Tbk

- ・ 設立 : 2000 年 10 月
- ・ 代表者 : Wishnu Wardhana (President Director)
- ・ 所在地 : インドネシア・ジャカルタ
- ・ 業種 : 石炭に係る供給、販売、及び炭鉱事業、建設事業

● Samtan Co., Ltd.

- ・ 設立 : 1962 年 12 月
- ・ 代表者 : Kim Sung Kook (CEO)
- ・ 所在地 : 韓国・ソウル
- ・ 業種 : 石炭に係る供給、販売、及び炭鉱事業

● Korea Midland Power Co., Ltd

- ・ 設立 : 2001 年 4 月
- ・ 代表者 : Lee, Jeong Nung (President & CEO)
- ・ 所在地 : 韓国・ポリョン
- ・ 業種 : 発電事業

● 中部電力株式会社

- ・ 設立 : 1951 年 5 月
- ・ 代表者 : 勝野 哲 (代表取締役社長)
- ・ 所在地 : 日本・名古屋
- ・ 業種 : 電気事業、ガス供給事業、海外コンサルティング及び投資事業

<案件所在地>



ジャカルタの東方約 250km。

以上